

事業所名：グループホーム 野いちご

作成日：平成 31 年 3 月 27 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	法人全体の運営(幹部)会議等の開催を検討予定である。系列の事業所の取り組みや課題、アイデアを共有すす事で、広い視野で日々のケアや行事の検討をできるようにしたり、災害対策の検討などに活かしていく予定である。	情報の共有を目的とし、入居者のサービス向上を図る為にも、地域や環境の情報を確認する場を設け、各施設の運営に活かしてゆく。	代表取締役を中心に、各ホームの幹部が、法人の運営、情報の共有、災害対策、サービスの向上に向けたアイデア等を話し合う会議を定期的に行うこととする。	24 ヶ月
2	28	今後も引き続き、ご本人が「できる事」「できそうな事」「要望」「解決策」「留意点」等をアセスメント用紙に増やすと共に、アセスメントの特記欄と計画の2票が連動するように努めて行く予定である。	入居者の方々が、「できる事」「できそうな事」等を、どのレベルまで支援を行えば出来るのかを再確認を行う。自立支援の為にも再検討を行い、チームケア上でモニタリングし、個々のケアプランに活かす。	個々のアセスメントをあり方をより細かく、鮮明にすることにより見えてくる、課題や諸問題を確認し、ケアプランに盛り込み、実施できるように取り組んでいる。	24 ヶ月
3	51	全員での外出が困難になっている。今後は体調に応じて少人数での外出場所を検討したり、ご利用者も一緒に買い物に行く機会などを検討する予定である。	入居者の現在のADLや、今までの生活歴を勘案し、ご本人様の希望や思いを確認、把握することにより、より一層の個別サービスの向上につなげてゆく。	年間行事や、月ごとの行事時に、近隣への外出や、ドライブ、買い物等を行い地域へ外出する機会を設け、楽しい時間を作れるように支援を行っている。	24 ヶ月
4					ヶ月